

ホホバ 頒布会便り



発行
毎月一回
(株)アイリス

六月に入り、いよいよ初夏となりました。梅雨の蒸し暑さや、汗をかく事も増え、肌がベタつくこの季節、肌に負担をかけずに優しくスツキリ洗う洗顔が重要となります。正しい洗顔法で梅雨の素肌を守りましょう。

ベタつきに負けない 梅雨時の洗顔

健やかなお肌の為に、お手入れで重要な事は、まず第一に、お肌を清潔な状態に保つ事。

この季節は湿気が多く、お肌がベタつきやすくなりますから、さっぱりとしたお肌を保つためには、特に洗顔とその後のお手入れの仕方が重要になってきます。

肌に負担をかけない 泡洗顔で優しく洗う

ベタつきが気になって、つい洗顔の時に肌をこすってしまう、という方は要注意。肌への刺激をより少なくする事が、肌に負担をかけない、正しい洗顔のポイントです。

お肌を刺激しない様、ぬるま湯で充分すすいだから、たっぷりの泡でお肌を包み込む様に洗いましょう。



洗顔後も、アロエローションできちんと水分補給してからホホバを薄く伸ばし、乾燥を防ぐ事が大切です。

洗顔後、放っておくと さらにベタつき肌に

この季節はベタつくから、と洗顔後に何もつけなかったり、アロエローションだけで済ませてしまおう、という方は、お肌がインナードライになっている可能性があります。

きちんと水分補給してホホバで肌表面を覆っていないと、肌の乾燥が進み、それを防ぐ為に皮脂の分泌が過剰になってしまい、「ベタついているのに水分不足」のインナードライに陥ってしまいます。優しく洗った清潔な素肌に、きちんとお手入れをしましょう。

清潔な素肌を保つ 梅雨時のお手入れ

梅雨時のジメジメした天気が続いてくると、湿度が高く、お肌のベタつきが気になります。スツキリとした素肌の為、この時期のお手入れは、お肌の水分と油分のバランスを保つ、正しい洗顔法が重要です。

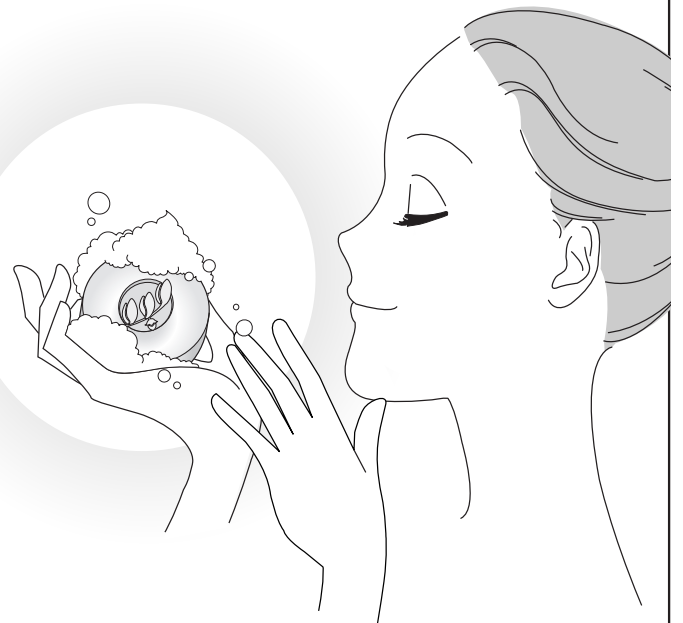
ベタつきの原因は インナードライ？

お肌のベタつきの原因となる皮脂は、六〜七月頃が分泌のピーク。梅雨時の、湿気の多い時期とも重なり、ベタついて不快に感じる事も増えてきます。しかし、表面はベタついていても、洗い過ぎや肌への刺激で肌内部分の水分量が不足する「インナー

ドライ」になってしまいう事が多い季節でもありますから注意が必要です。

インナードライになった肌は、潤いを保つために、皮脂の分泌を増やして乾燥を防ごうとします。するとますます肌はベタついてしまい、気になって洗い過ぎてしまつて・・・と、悪循環に。

梅雨時の洗顔は、お肌の表面に付着した汚れや古い角質、皮脂等



をきちんと洗い上げる事はもちろんですが、洗顔後にきちんとお手入れして、お肌の水分量を保つ事でインナードライを防ぎ、余分な皮脂分泌を食い止める事が重要です。



洗顔はすすぎに始まり

すすぎに終わります

洗顔で一番大切な事は、いかにお肌を刺激せずに汚れを落とすか、という事。

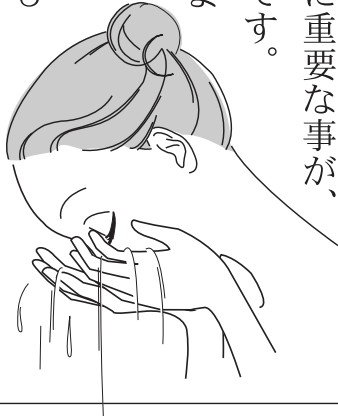
そのために重要な事が、「すすぎ」です。

まずはぬるま

湯で、肌を

こすらずに

丁寧にも



すすいで、肌が柔らかくなつてから、しっかりと泡立てた、

たっぷりの泡で優しく

肌を包み込む様に

洗ってください。

肌

に直接は触れ

ない位そつと、薬指

の腹で泡を動かす様なイメージで

洗顔しましょう。

その後のすすぎは、ぬるま湯で

表面の泡を落としたら、たっぷり

の水を肌にはパシャパシャと当て



るようにして、さらに入念に。

割合としては、すすぎ3・洗顔

2・すすぎ5を目標にしましょう。

正しいお手入れで

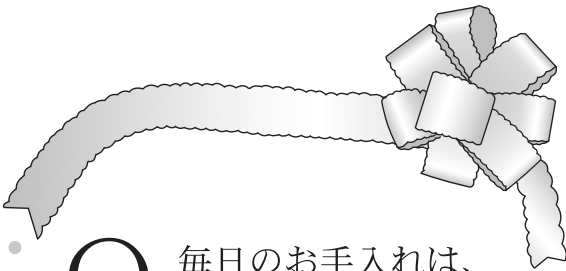
べたつき防止を

洗顔後は必ず水分補給と保湿のお手入れをしましょう。

お手入れの最後に、ホホバで潤

いべールを作ること、余分な皮

脂の分泌を抑えられます。



Q 毎日のお手入れは、朝と夜に、それぞれ洗顔→アロエローション→雪の華→ホホバの順でつけていますが、これで良いのでしょうか？

朝、夜の手入れが同じで良いのかな？という気もするので心配です。



A いつもご愛用ありがとうございます。

ご質問のお手入れは、基本、朝晩同じで大丈夫です。

ホホバは酸化して油やけを起こす心配がないので、朝も安心してお使い頂けます。

しかし、紫外線に対し悪影響はないものの、防止効果まではありませんから、朝のお手入れの仕上げにはホホバUVカットをプラスし、夜の洗顔前にはクレンジングをプラスしていただくと、よりおすすめです。